



☆大和市

令和8年市長年頭記者会見資料

と き 令和8年1月13日（火）
午前10時30分から
ところ 大和市役所5階 研修室

1 市長あいさつ

2 会見内容

（1）大和市財政健全化ビジョンを策定しました・・・・・・・・・・ 1

<その他の資料>

資料1：「大和市財政健全化ビジョン」

2（１）大和市財政健全化ビジョンを策定しました

大和市は、健全で持続可能な行政経営を行うため、現在の財政状況の分析や今後の取り組み方針などを示した「大和市財政健全化ビジョン」を、令和7年12月に策定しました。

1）背景

本市において、令和6年度の経常収支比率が101.5%となり、初めて100%を超えました。経常的な経費を市税等の一般財源で賄えない状態にあり、財政の柔軟性が大きく損なわれています。その結果、新たな政策を打ち出したり、緊急の課題に対応したりすることが困難な状況です。

また、市の貯金とも言える財政調整基金が、令和4年度の67億円から減少を続けており、今年度末には30億円程度になる見通しです。このままのペースで取り崩し続けた場合、令和9年度に枯渇することが予測され、市民サービスに大きな影響を与えるおそれがあります。

こうした状況を受け、市は令和7年10月、未来政策部内に「財政健全化プロジェクトリーダー」および「特命担当課長」を配置し、庁内横断的な体制のもと、財政健全化に向けて取り組んできました。

2）趣旨

本ビジョンは、「第10次大和市総合計画（令和7年度～令和16年度）」に掲げる施策の着実な推進と財政規律を確保した行財政運営を目的としています。

これまで本市は、多様な行政需要に対応してきましたが、経常収支比率の悪化や財政調整基金残高の減少など、財政の持続可能性に対する懸念が顕在化しており、財政が厳しくなった要因や課題を十分に検証しなければ、同じ問題が繰り返されるおそれがあります。また、健全化の取り組みを進めていくにあたって、このような事態になった原因を説明できなければ、市民の理解を得ることはできません。そのため、ビジョンでは、財政の現状分析を重視し、過去の決算等を経年比較することに加え、類似団体との比較分析を行うことで、本市の立ち位置を客観的に把握することに努めました。

分析結果から見えた課題を踏まえ、具体的な取り組み策を盛り込んだ「（仮称）大和市財政健全化プラン」を、令和8年11月までに策定します。そのプランの中で、令和10年度までの財政見通しを作成するとともに、事業の見直しや歳入確保策の充実等を図るなど、経営的視点をもって行政経営を行います。

3) 内容

①何が問題なのか

<身の丈を超えた行政サービス>

- ・経常収支比率（毎年入ってくる自由に使えるお金に対し、必ず支出しなければいけないお金の割合）が100%を超えています。
- ・このまま何も対策をしないと、財政調整基金が枯渇してしまうおそれがあります。

②何が原因なのか

<義務的経費が多い歳出構造>

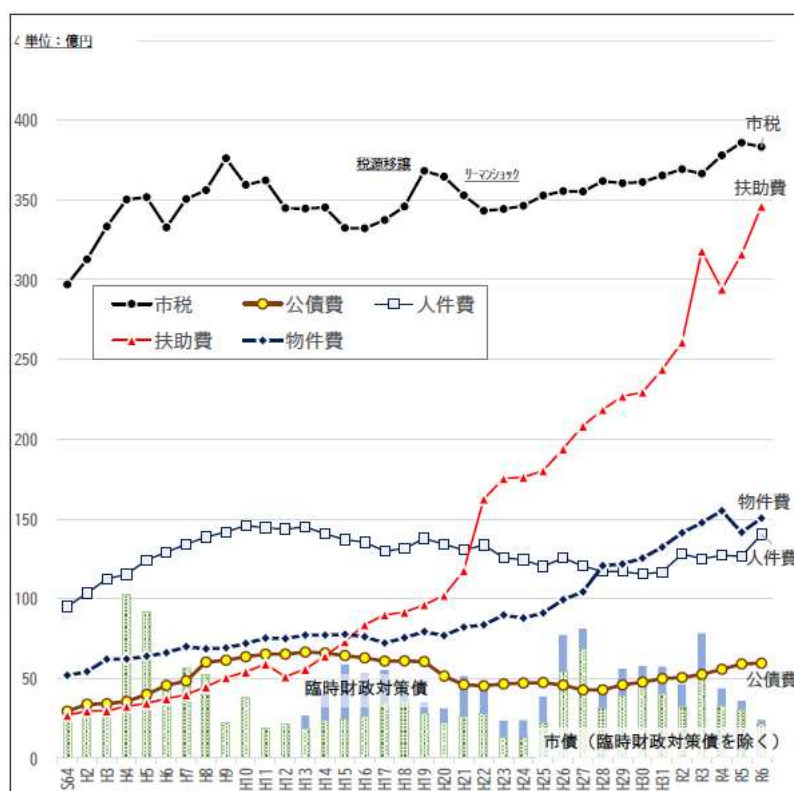
- ・義務的経費（扶助費、人件費、公債費の合計）の支出が、歳出全体の6割を超えています。

■県内類似団体／令和6年度性質別決算額（単位：億円）

	人件費	扶助費	公債費	歳出合計	義務的経費比率
平塚市	169	328	62	1,074	52.1%
茅ヶ崎市	160	280	59	996	50.1%
大和市	140	346	59	906	60.2%
厚木市	169	298	62	1,095	48.4%
小田原市	158	247	61	860	54.3%

- ・福祉サービス（扶助費）の伸びが大きく、外部委託などにかかる経費（物件費）も増えています。

■市税/市債と義務的経費＋物件費の推移（単位：億円）



＜財政負担が増加していった主な要因＞

- ・市の裁量なく増加していく経費として、高齢者数の増加などによって社会保障費関係の支出（介護会計への繰出金や障害福祉サービスの扶助費など）が増加しています。
- ・市の裁量によって増加している経費として、待機児童対策としての保育定員の拡大や、子ども医療費の助成対象の拡大、シリウスやポラリスなどの大規模施設にかかる維持管理経費や建設時に借り入れた市債の償還が増加しています。
- ・最近の社会情勢として、人事院勧告に伴う人件費の増加のほか、物価や労務単価の上昇などにより業務委託や施設管理などにかかる委託料も増加しています。
- ・以上のように、支出が増加していく社会情勢のもと、直面する市民ニーズに合わせ、政策の実現を優先させてきた過程において、財政規律が失われていきました。

③今後どうしていくのか（取り組みの方針）

- ・総合計画に掲げる施策の着実な推進および財政規律を確保した行財政運営を目的とした「（仮称）大和市財政健全化プラン」を策定し、財政の健全化に取り組んでいきます。

※同プランは今年１１月までに策定する予定です。同プランに基づいて令和９年度および１０年度の予算を編成していきます。

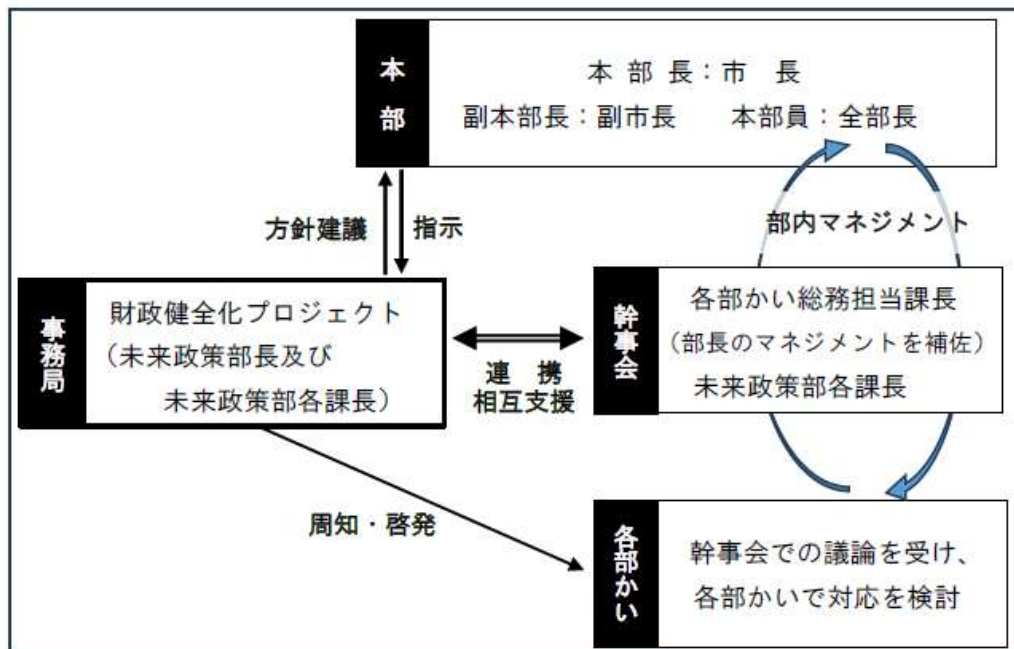
＜同プランで定める取り組み＞

項目	主な内容
財政見通しの作成	令和８年度当初予算データに基づく最新の令和９・１０年度の財政見通しを作成
歳出事業の見直し	「ビルド＆スクラップ」を基本的な考え方とし、事業を実施（ビルド）する場合は、施策を推進するうえで優先順位が低い他の事業を廃止・縮小（スクラップ）
歳入確保策の充実	<ul style="list-style-type: none">・受益者負担の適正化方針運用の厳格化・自主財源の確保（ふるさと納税等の寄附、ネーミングライツ、広告など）・積立基金の積極的な活用・市税等の収入未済額の縮減
経営基盤強化／財政規律確保のガバナンス向上	<ul style="list-style-type: none">・将来的な人口減少を見据え、公共施設の縮減指針「（仮称）再配置計画」を策定・基礎自治体としての持続可能性を高めるための行政経営力の向上・ガバナンス体制の構築の検討

4) 推進体制

計画に実行性を持たせるための推進体制を構築します。

- ・市長を本部長とする「健全財政・改革本部」を設置します。
- ・未来政策部と各部総務担当課長からなる幹事会を設け、健全化の取り組みについて、各部長が行うマネジメントを補佐することで、部内マネジメント機能の向上を図ります。



5) スケジュール（予定）

- 令和 8年 2月 タウンミーティング（ビジョンの説明・意見聴取）
10月 （仮称）大和市財政健全化プラン（案）の確定
市議会議員への情報提供（プランの説明・意見聴取）
パブリックコメント（プランの意見聴取）
11月 （仮称）大和市財政健全化プランの策定

問い合わせ：財政健全化プロジェクト ☎046-260-5318へ